

国語－9（第2学年） 集めた情報を比較して考える事例（読むこと）
【学習活動の概要】

1 単元名 子育てに関する情報を比べてみよう～情報を比較し自分の考えをまとめる～

2 単元の目標

幼児や育児に関する情報を集め、集めた情報を比較し、他の人と意見を交流しながら自分の考えをまとめることができる。

3 評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

新聞やインターネットで得た情報を読み、情報の特徴について考えを深めようとしている。

【読む能力】

- ・新聞やインターネットの記事について、文章の構成や表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめている。
- ・複数の方法で得た情報を比較し、目的に応じて選択して自分の考えをまとめている。

【言語についての知識・理解・技能】

新聞やインターネットにおける文章の形態や展開の違いについて考えている。

4 題材

新聞やインターネットから得た子育てに関する情報

5 主な学習活動

(1)単元の展開（全4時間）

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第1時	学習の見通しを立て、日常生活から育児に関する課題を立てる。	
第2時	新聞やインターネットから幼児や育児に関する情報を収集する。	○インターネットの情報に偏らないように、新聞からも情報を収集させる。
第3時 (本時)	集めた情報を比較し、情報源による違いをとらえた上で、必要な情報を選ぶ。	○情報の内容の違いだけでなく、情報源による情報の違いについて考えさせるようにする。
第4時	選んだ情報を基に、育児に関する自分の考えをまとめる。	○技術・家庭科の指導事項を踏まえたものとなるよう指導する。

(2)本時の学習（3/4時間）

- ① 前時に集めた情報から、自分の考えをまとめるための情報を選ぶ。
- ② 同じテーマの情報について、情報源による違いをとらえる。
 - ・新聞記事にはどのような特徴があるかを考える。
 - ・インターネットの情報にはどのような特徴があるかを考える。
 - ・それぞれの情報を使って自分の考えをまとめる場合に、どのような点に注意すべきかを考える。
- ③ 自分の考えをまとめるために必要な情報を絞り込む。
 - ・自分の課題にふさわしい情報を決め、論の構成を考える。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第2学年「読むこと」の指導事項「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」と、「オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。」を指導する。自分の考えをまとめる際には、情報を適切に選択することと、考えと引用した情報の整合性を図ることが重要となる。自分の考えがよりよく伝わるようにまとめることができるように指導する。

さらに、関連する内容として、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(1)イ(オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。」を位置付ける。新聞は推敲や校正の後に発行され、また、見出しや本文の書き方にも一定のルールがある。一方、インターネットは新聞に近いものから、個人が思いのままに綴ったものまで大きな差異がある。その点を踏まえて、複数の情報源の特徴やその違いがよく理解できるよう指導する。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。第2学年の「読むこと」の言語活動例は、次の3つであり、本事例では、ウの言語活動例を具体化した。

- ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
- イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。
- ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

インターネットは中学生にとって身近な情報源であるが、その情報をすべて真実として受け取ってしまうことが多い。複数の情報を収集して信頼のおける情報を選択するよう指導する。新聞に関しては、見出しやリードの役割、記事の配置や重要度などを理解した上で、紙面全体を読むことが重要である。

本事例は技術・家庭科の教師とティームティーチングで行った。家庭分野の指導事項2 A (3) 「ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。」と関連して指導した。国語科は国語の能力を育成することを重視して指導し、技術・家庭科も教科の力を育成することを重視して指導する。

「ワークシートの例」

設定した課題： 子育ての楽しみ		
情報源	新聞	インターネット
タイトル (出典)	「〇〇〇〇」 (▲▲▲▲新聞, 平成 23 年×月×日, 朝刊)	「〇〇〇〇」 (http://*****)
内容の要約	現在では、電車の中などで幼児の泣き声を聞くと、迷惑に感じる人が多いという。しかし昔は、幼児の泣き声はめでたいと言われていた。	政府が、今後の子育て支援の方向性を示した「子ども・子育てビジョン」を策定した。
情報の特徴	○一つの話題について文字量が多い。 ○この記事の場合は、書いた人の名前がはっきりと書かれている。	○関係のある資料を続けて見ることができる。 ○個人の意見もたくさん載っている。 ○誰が書いたのか分からないものもある。
課題の解決に向けて：		